

病害虫発生予察 9月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

令和6年9月の気象表 (長野地方気象台発表)

官署等	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長野	本年	25.8	26.4	21.8	68.5	51.5	9.5	69.8	54.8	48.2
	平年	23.3	21.2	18.5	39.6	51.7	34.2	54.7	49.4	47.1
松本	本年	25.5	26.6	21.8	3.5	55.5	11.0	80.4	66.0	46.6
	平年	22.8	20.7	17.8	39.2	59.2	49.6	53.6	50.9	46.5
諏訪	本年	24.5	25.4	21.0	40.0	37.0	13.5	77.2	67.8	44.1
	平年	22.0	20.1	17.3	49.7	70.5	56.8	54.5	50.6	47.8
軽井沢	本年	21.0	22.3	16.9	51.0	127.5	5.5	68.7	52.8	25.5
	平年	18.9	17.0	14.2	71.1	70.2	52.3	44.8	42.8	39.0
飯田	本年	25.7	26.5	22.6	21.0	44.0	38.0	83.0	72.2	38.7
	平年	23.6	21.7	19.1	52.9	80.3	75.4	55.3	52.2	47.0

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため、気温は記録的に高く、月平均気温は全地点(29地点)で統計開始以来最も高くなった。

また、前線や南からの湿った空気の影響によって大気の状態が不安定で雨や雷雨となり、非常に激しく降った所があった。

1 水稲

(1) 生育概況

本年の須坂市(農業試験場)における成熟期調査では、成熟期は平年と比べ「あきたこまち」、「コシヒカリ」は6日、「風さやか」は7日早かった。稈長は、全ての品種がほぼ平年並であった。穂長は、全ての品種が平年と比べ長かった。穂数は、全ての品種が平年と比べ少なかった(第1表)。

第1表 イネの生育状況

須坂市(農業試験場作物部)

品種名	区分	幼穂形成期(月/日)	出穂期(月/日)	成熟期			
				月/日	稈長 cm	穂長 cm	穂数本/m ²
あきたこまち	平年	7/7	7/27	9/7	85	18.5	482
	前年	7/7	7/28	8/31	89	18.5	537
	本年	7/7	7/25	9/1	85	19.8	440
コシヒカリ	平年	7/12	8/5	9/15	95	18.7	475
	前年	7/13	8/6	9/12	93	18.8	473
	本年	7/11	8/3	9/9	98	19.1	431
風さやか	平年	7/17	8/8	9/21	82	17.4	465
	前年	7/17	8/7	9/15	80	17.5	449
	本年	7/14	8/6	9/14	81	18.1	416

移植期は2024年5月20日

平年は2017年~2023年までの収量最高年と最低年を除く5か年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

①いもち病

穂いもちの発病地点率は、一般的に平年と比べ高かった。

平均被害率は、中信地域は平年と比べ高く、南信地域は平年並、東信地域、北信地域は平年と比べ低かった(第2表)。

第2表 穂いもち発生状況（9月上中旬調査）

地域	調査地点数	発病地点率 (%)*		平均被害率 (%)*		被害率の発生程度別地点数 *2)				
		平年	本年	平年	本年	本年内訳				
						甚	多	中	少	無
東信	15	63.1	73.3	1.2	0.4	0	0	0	11	4
南信	16	50.2	62.5	1.5	1.7	0	0	0	10	6
中信	19	46.5	57.9	0.7	3.2	0	0	1	10	8
北信	17	40.3	47.1	0.4	0.1	0	0	0	8	9
県全体	67	49.3	59.7	1.0	1.4	0	0	1	39	27

発病地点率は巡回調査地点の中で発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したもの
 平均被害率は巡回調査地点の被害率を地域ごとに平均したもの
 発病地点率の平年は2014年～2023年の平均値
 平均被害率の平年は2016～2023年の平均値
 被害率の発生程度別基準は以下のとおり（農作物有害動植物発生予察事業調査実施基準）

程度	甚	多	中	少	無
被害率(%)	51以上	26～50	11～25	1～10	0

②紋枯病

9月上中旬の巡回調査での発病地点率は、東信地域、北信地域は平年と比べ高く、南信地域、中信地域は平年と比べやや低い～低かった。

平均発病株率は、東信地域は平年と比べ高く、その他の地域は平年と比べ低かった。

③白葉枯病

9月上中旬の巡回調査では、発生はみられなかった。

④稲こうじ病

9月上中旬の巡回調査では、南信地域、北信地域の一部のほ場で発生が確認された。

発病地点率、平均発病株率は、南信地域、北信地域は平年と比べやや低い～低かった（第3表）。

第3表 稲こうじ病の発生状況（9月上中旬調査）

地域	調査地点数	発病地点率 (%)		平均発病株率 (%)	
		平年	本年	平年	本年
東信	15	15.5	0	2.4	0
南信	16	13.6	5.6	1.0	0.1
中信	19	1.6	0	0.1	0
北信	17	6.7	5.9	0.3	0.2
県全体	67	9.0	2.9	0.9	0.1

発病地点率は巡回調査で発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したもの
 平均発病株率は巡回調査地点の発病株率を地域ごとに平均したもの
 発病地点率の平年は2014年～2023年の平均値
 発病株率の平年は2015年～2023年の平均値（2015年から実施）

⑤コブノメイガ

9月上中旬の巡回調査では、幼虫による被害葉はみられなかった。

⑥セジロウンカ

9月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）での平均捕獲頭数は、南信地域は平年と比べ多かった。その他の地域は、平年と比べやや少ない～少なかった。

⑦ツマグロヨコバイ

9月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）での成虫平均捕獲頭数は、東信地域の一部のほ場は平年と比べ多かった。その他の地域は、平年と比べやや少ない～少なかった。

⑧トビイロウンカ

県下7機の予察灯では、誘殺されなかった。

また、9月上中旬の巡回調査ほのすくい取り調査（本田ネット20回振）では、捕獲されなかった。

⑨ニカメイガ（第2世代）

9月上中旬の巡回調査における白穂発生地点率は、東信地域は平年と比べ高く、その他の地域はみられなかった。

白穂株率は、東信地域は平年と比べやや高かった（第4表）。

第4表 ニカメイガによる白穂発生状況（9月上中旬調査）

地域	調査地点数	白穂発生地点率(%)		平均白穂株率(%)	
		平年	本年	平年	本年
東信	15	18.6	26.7	2.2	2.7
南信	16	1.6	0	0.1	0
中信	19	0.6	0	0	0
北信	17	1.9	0	0.1	0
県全体	67	5.0	6.0	0.5	0.6

発病地点率は巡回調査で発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したものの平均白穂株率は巡回調査地点の発病株率を地域ごとに平均したものの平年は2014年～2023年の平均値

⑩斑点米カメムシ類

9月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）での捕獲地点率は、中信地域は平年と比べ高く、その他の地域は平年並であった。

平均捕獲頭数は、中信地域は平年と比べ多く、その他の地域は平年並であった。

主要種は、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシであった。なお、南信地域はクモヘリカメムシが平年と比べ多く捕獲された（第5表）。

第5表 すくい取り調査における斑点米カメムシ類の捕獲状況（9月上中旬）

地域	調査地点数	捕獲地点率(%)		平均捕獲頭数(頭)		種別捕獲頭数合計(頭)					
		平年	本年	平年	本年	計	アカスジ	ホソハリ	クモヘリ	アカヒケ	ホソミ
							カスミカメ	カメムシ	カメムシ	カスミカメ	カメムシ
東信	15	15.6	20.0	0.3	0.3	5	1	3	0	1	
南信	16	35.0	33.3	2.0	4.5	81	30	34	17	0	
中信	19	33.3	60.0	1.3	1.6	23	15	3	0	5	
北信	17	26.1	23.5	1.0	1.0	17	8	5	0	4	
県全体	67	28.3	35.7	1.2	1.9	126	54	45	17	10	

調査方法は本田においてすくい取り（ネット20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫+幼虫）を調査

捕獲地点率(%)は調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

平均捕獲頭数は捕獲頭数計(成虫数+幼虫数)÷調査地点数

平年は2017年～2023年の平均値

⑪イチモンジセセリ（イネツトムシ）

巡回調査では、北信地域の一部のほ場で「つと」がみられ、「つと」の確認地点数は、平年と比べ多かった。その他の地域では、「つと」はみられなかった。

⑫クサキリ類

9月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）での捕獲頭数は、東信地域、北信地域は平年と比べ多かったが、南信地域、中信地域は平年と比べ少なかった。

2 りんご

(1) 生育概況

10月15日までの須坂市（果樹試験場）の果実肥大は、シナノスイート及びふじは平年と比べやや大きい傾向である（第1表）。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

調査日	シナノスイート								ふじ							
	横径(mm,%)				縦径(mm,%)				横径(mm,%)				縦径(mm,%)			
	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
9/1	84.1	87.2	85.1	101	73.3	79.8	79.3	108	82.0	80.2	82.1	100	69.1	72.4	71.1	103
9/15	88.1	92.1	87.7	100	76.9	83.9	81.8	106	85.3	82.5	84.9	100	72.2	74.1	74.2	103
10/1	92.0	94.8	91.7	100	80.6	86.5	85.3	106	88.1	84.8	87.8	100	75.1	76.7	77.4	103
10/15	94.8	96.9	94.8	100	82.6	87.5	88.4	107	89.9	86.5	89.1	100	76.8	76.8	79.6	104

平年は2009年～2023年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①褐斑病

巡回調査では、南信地域、中信地域、北信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

②斑点落葉病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③輪紋病

巡回調査では、北信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

④炭疽病

巡回調査では、南信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

⑤キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べ少なかった（第2表）。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	497.8	669.4	565.4	697.9	414.6	400.6
前年	697	309	175	63	54	82
本年	66	156	86	105	213	111

平年は2014年から2023年までの平均値

⑥シンクイムシ類

巡回調査では、果実の被害はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺頭数は、9月第1半旬は平年と比べやや多く、第2半旬以降は平年並であった（第3表）。

須坂市（果樹試験場）のスモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べ多かった（第4表）。

第3表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	7.5	7.1	4.8	5.0	0.7	0.4
前年	16	15	26	38	3	0
本年	15	6	4	1	1	0

平年は2014年から2023年までの平均値

第4表 スモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	17.3	18.3	15.6	8.1	11.4	9.4
前年	112	93	85	47	83	84
本年	63	63	57	41	21	25

平年は2014年から2023年までの平均値

⑦ハダニ類

巡回調査では、県下各地でリンゴハダニ、ナミハダニの寄生がみられ、一部のほ場では9月下旬まで多発傾向が続いた。発生量は平年並～やや多かった。

⑧リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、果実の被害はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺はなかった（第5表）。

第5表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	0.0	0.1	0.1	0.4	0.3	0.1
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

3 なし

(1) 生育概況

9月1日までの高森町(南信農業試験場)の果実肥大は、二十世紀は平年並、豊水は平年と比べやや小さい、南水は平年と比べやや大きい傾向である(第1表)。

第1表 なしの果実肥大状況 (mm, %) 高森町(南信農業試験場)

品 種	区分	8月15日		9月1日	
		横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	75.8	66.5	87.6	76.8
	前年	80.7	74.7	94.1	83.0
	本年	77.8	67.1	88.3	75.4
	(平年比)	(103)	(101)	(101)	(98)
豊 水	平年	83.2	72.3	96.3	82.6
	前年	89.1	79.4	—	—
	本年	80.5	70.1	90.4	78.3
	(平年比)	(97)	(97)	(94)	(95)
南 水	平年	76.9	60.6	88.4	69.9
	前年	82.1	64.3	90.2	71.8
	本年	77.2	60.5	94.0	73.5
	(平年比)	(100)	(100)	(106)	(105)

平年は2001年から2020年までの平均値(幸水は長果枝と短果枝の平均)

(2) 病害虫の発生状況

①枝幹性病害(胴枯病・枝枯病)

巡回調査では、発生はみられなかった。

②カメムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町(南信農業試験場)のフェロモントラップによるクサギカメムシの誘殺頭数は、平年並であった(第2表)。

高森町(南信農業試験場)のフェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺頭数は、平年と比べ多かった(第2表)。

第2表 カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

高森町(南信農業試験場)

種類	区分	9月					
		1	2	3	4	5	6
クサギカメムシ	平年	0.2	0	0.1	0.3	0.7	0.5
	前年	0	0	0	2	0	0
	本年	1	0	0	2	0	0
チャバネアオカメムシ	平年	2.2	1.0	1.1	0.6	0.3	0.5
	前年	0	1	0	0	0	0
	本年	65	38	39	33	11	3

平年は2014年から2023年までの平均値

③ナシヒメシクイ

巡回調査では、被害果はみられなかった。

高森町(南信農業試験場)でのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった(第3表)。

第3表 ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

高森町(南信農業試験場)

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	15.5	10.6	10.0	9.2	3.5	2.6
前年	44.5	41	35	44	18.5	13.5
本年	24	29	12	15.5	10.5	6

平年は2014年から2023年までの平均値

④モモシクイガ

巡回調査では、果実被害はみられなかった。

高森町(南信農業試験場)のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった(第4表)。

第4表 モモシクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	0.3	0.1	0.1	0	0	0
前年	1.5	0	0	0	0	0
本年	1.5	0.5	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

⑤リンゴコカクモンハマキ

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった（第5表）。

第5表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	0.6	0.4	0.9	0.8	1.2	0.6
前年	0.5	0	0	0	0.5	0
本年	0	0	0.5	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

4 **もも**

(1) 病害虫の発生状況

①シンクイムシ類

巡回調査では、発生及び果実の被害はみられなかった。

長野市（病害虫防除所）のモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺はなかった（第1表）。

第1表 モモシクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
長野市（病害虫防除所）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	—	—	—	—	—	—
前年	—	—	—	—	—	—
本年	0	0	0	0	0	0

2024年から調査ほ場を変更

②モモハモグリガ

巡回調査では、被害葉はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べ少なかった（第2表）。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	125.6	273.9	108.0	154.0	81.4	40.9
前年	104	54	5	9	13	68
本年	22	13	52	77	45	19

平年は2014年から2023年までの平均値

5 **ぶどう**

(1) 病害虫の発生状況

①晩腐病

巡回調査では、中信地域の一部のほ場で発生がみられ、発生量は平年並であった。

②さび病

巡回調査では、中信地域、北信地域の一部のほ場で発生がみられ、発生量は平年並であった。

③べと病

巡回調査では、県下各地で発生がみられ、発生量は平年並であった。

④灰色かび病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤黒とう病

巡回調査では、南信地域、北信地域の一部のほ場で茎葉に発生がみられ、発生量は平年並であった。

⑥クビアカスカシバ

巡回調査では、主幹および主枝の被害はみられなかった。

小布施町（病害虫防除所）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった（第1表）。

第1表 クビアカスカシバのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
小布施町（病害虫防除所）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	0	0	0	0	0	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	1	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

6 **かき**

(1) 生育概況

10月1日までの高森町（南信農業試験場）の果実肥大は、平年並である（第1表）。

第1表 かきの果実肥大状況
高森町（南信農業試験場）

品種名	区分	9月1日(mm,%)		9月15日(mm,%)		10月1日(mm,%)	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
市田柿	平年	50.5	47.7	53.0	50.5	58.1	55.8
	前年	52.0	51.7	55.0	55.0	58.5	59.0
	本年 (平年比)	50.5 (100)	49.4 (103)	52.7 (99)	52.3 (104)	56.8 (98)	57.2 (102)

平年は2001年から2020年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、南信地域で発生がみられ、発生量は平年と比べやや多かった。

②炭疽病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③円星落葉病

巡回調査では、発生がみられなかった。

④カキクダアザミウマ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤カキノヘタムシガ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑦フジコナカイガラムシ

巡回調査では、南信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べ多かった（第2表）。

第2表 フジコナカイガラムシのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	60.0	87.0	101.0	59.6	113.0	87.8
前年	19	29	42	27	1	0
本年	778	790	194	92	22	10

平年は2014年から2023年までの平均値

⑧ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

7 **野菜・花き**

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害

巡回調査では、北信地域の施設栽培で、すすかび病の発生がみられた。

虫害においては、東信地域の露地栽培でハモグリバエ類の寄生、オオタバコガによる果実被害、南信地域の施設栽培でオンシツコナジラミの寄生、北信地域の施設栽培でオンシツコナジラミ、ハモグリバエ類の寄生がみられた。

②きゅうりの病害

巡回調査では、北信地域の施設栽培でうどんこ病、べと病、褐斑病、露地栽培で褐斑病、炭疽病、べと病の発生がみられた。

虫害においては、南信地域の施設栽培でオンシツコナジラミ、ワタヘリクロノメイガ（ウリノメイガ）、中信地域の施設栽培でアザミウマ類、オンシツコナジラミ、北信地域の施設栽培でオンシツコナジラミ、ハモグリバエ類、露地栽培でハモグリバエ類の寄生がみられた。

③キャベツの病害虫

巡回調査では、東信地域の多くのほ場で株腐病、一部のほ場で黒腐病、中信地域で軟腐病、一部のほ場で黒斑細菌病、北信地域で株腐病、黒腐病の発生がみられた。

虫害においては、ほぼ全域の多くのほ場で、コナガ、ウワバ類などチョウ目害虫の被害がみられた。

④ブロッコリーの病害虫

巡回調査では、東信地域で黒腐病、一部のほ場で黒斑細菌病の発生がみられた。

虫害においては、東信地域、南信地域でコナガ、ウワバ類などチョウ目害虫の被害がみられた。

⑤はくさいの病害虫

巡回調査では、東信地域でピシウム腐敗病、一部のほ場で白さび病、白斑病、べと病、中信地域で軟腐病の発生がみられた。

虫害においては、東信地域でチョウ目害虫の被害がみられた。

⑥レタスの病害虫

巡回調査では、東信地域ですそ枯病、斑点細菌病、一部のほ場でべと病、中信地域で斑点細菌病、一部のほ場で軟腐病、北信地域ですそ枯病、斑点細菌病の発生がみられた。

虫害においては、中信地域の一部のほ場で、オオタバコガの食入被害がみられた。

⑦セルリーの病害虫

巡回調査では、南信地域の露地栽培でハモグリバエ類の寄生がみられた。

⑧アスパラガスの病害虫

巡回調査では、東信地域、中信地域、北信地域（いずれも露地栽培）は茎枯病、斑点病、南信地域（雨よけ栽培）は茎枯病の発生がみられた。

虫害においては、ほぼ全域でアザミウマ類の寄生がみられた。また、南信地域の一部ほ場でハダニ類、中信地域でハスモンヨトウ、北信地域でハスモンヨトウ、オオタバコガ等チョウ目害虫、一部のほ場でハダニ類の寄生がみられた。

⑨ねぎの病害虫

巡回調査では、南信地域、中信地域で黒斑病の発生がみられた。

虫害においては、南信地域、中信地域でアザミウマ類、ネギハモグリバエ、ネギコガ、南信地域の一部のほ場でハスモンヨトウの寄生がみられた。

⑩コナガ（アブラナ科野菜）

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、ほぼ平年並であった。

小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）では、平年と比べ少なかった。

上田市菅平（地区予察ほ）では、第1～第3半旬は平年と比べ多かったが、第4半旬以降は平年並であった。

原村（防除決定ほ）では、第1～第3半旬は平年と比べやや多く、第4半旬以降は平年と比べ多かった。

朝日村（地区予察ほ）では、平年ならば減少する第2半旬以降も継続して誘殺頭数が多かった。

長野市上ヶ屋（地区予察ほ）では、平年と比べ多かった（第1表）。

第1表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	8.2	4.0	4.7	4.7	2.0	3.8
		本年	5	1	3	5	5	4
小諸市山浦 （同 佐久支場）	レタス	平年	7.8	15.0	13.5	12.1	11.8	10.2
		本年	4	1	4	2	5	5
上田市菅平 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	5.3	2.6	2.6	3.3	3.6	1.1
		本年	8	6	12	3	4	2
諏訪郡原村 （防除適期決定ほ）	ブロッコリー	平年	33.1	27.5	22.8	29.0	35.2	26.2
		本年	51	36	38	76	75	43
東筑摩郡朝日村 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	25.2	8.2	11.2	3.6	8.2	10.0
		本年	20	24	25	30	29	45
長野市上ヶ屋 （地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	18.4	23.8	28.9	27.1	22.1	19.7
		本年	32	33	45	44	50	25

朝日村以外の平年は2014年から2023年までの平均値

朝日村の平年は2019年から2023年までの平均値

⑪オオタバコガ

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀(野菜花き試験場)では、第1～第3半旬は平年並であったが、第4半旬以降は平年と比べ多かった。
 小諸市山浦(野菜花き試験場佐久支場)では、平年と比べ多かった。
 須坂市小河原(農業試験場)では、第4半旬にピークがみられ、誘殺頭数は平年と比べ多かった(第2表)。

第2表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	55.2	62.4	71.6	71.3	61.1	60.3
		本年	57	58	48	88	84	81
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	43.3	47.6	62.3	56.5	72.1	57.7
		本年	76	76	68	116	92	81
須坂市小河原 (農業試験場)	サツマイモ ・だいず	平年	26.1	26.4	24.7	29.0	30.5	42.5
		本年	22	36	51	110	81	85

平年は2014年から2023年までの平均値

⑫ヨトウガ類

ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀(野菜花き試験場)では、第1～第4半旬は平年並であったが、第5～第6半旬は平年と比べ多かった。

須坂市小河原(農業試験場)では、9月は誘殺されなかった(第3表)。

ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀(野菜花き試験場)では、第1～第4半旬はほぼ平年並であったが、第5半旬以降、平年と比べやや多かった。

須坂市小河原(農業試験場)では、第1半旬は平年並であったが、第2半旬から急増し、第5半旬をピークとする誘殺の山がみられ、平年と比べかなり多かった。

上田市菅平(地区予察ほ)では、第1半旬まで平年と比べ少なかったが、第2半旬以降急増し、第3半旬以降は平年と比べかなり多かった(第4表)。

シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀(野菜花き試験場)では、第2半旬以降に急増し、平年と比べかなり多かった。
 長野市上ヶ屋(地区発生予察ほ)では、平年と比べ多かった(第5表)。

第3表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	24.8	23.8	22.8	22.6	18.1	11.9
		本年	28	24	20	20	31	26
須坂市小河原 (農業試験場)	サツマイモ ・だいず	平年	5.1	6.4	3.5	2.4	1.8	1.7
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

第4表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	60.4	70.0	68.9	63.3	67.2	63.5
		本年	57	54	81	67	83	93
須坂市小河原 (農業試験場)	サツマイモ ・だいず	平年	104.1	173.7	120.2	127.6	199.8	160.0
		本年	94	242	560	840	1144	598
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	4.8	4.6	3.3	4.1	3.6	2.5
		本年	0	13	35	73	70	50

平年は2014年から2023年までの平均値

第5表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	32.4	18.5	15.1	20.1	25.7	15.2
		本年	23	44	89	132	145	84
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.7	1.7	3.0	2.5	1.8	0.6
		本年	6	2	2	6	9	1

長野市以外の平年は2014年から2023年までの平均値

長野市の平年は2018年から2023年までの平均値

⑬アザミウマ類（ネギアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなど）

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺頭数は、上田市菅平（地区予察ほ）では、平年と比べかなり多かった。

富士見町（防除適期決定ほ）では、平年は9月中旬から急激に誘殺頭数が減少するが、本年は9月第6半旬まで誘殺頭数が多かった。

塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）では、第3半旬にピークがみられ、平年と比べ多かった。

長野市上ケ屋（地区予察ほ）では、第4半旬にピークがみられ、平年と比べ上旬は少なく、中旬は多く、下旬は少なかった（第6表）。

第6表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	12.8	12.7	6.5	7.0	5.0	2.7
		本年	46	71	88	65	12	12
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	71.0	37.7	26.0	4.0	5.0	3.0
		本年	35	70	86	71	53	33
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	31.0	21.5	17.3	6.0	11.3	15.0
		本年	20	34	78	59	37	22
長野市上ケ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	83.5	88.7	41.0	45.8	77.7	28.2
		本年	52	54	73	132	52	14

富士見町、塩尻市の平年は2017年から2023年までの平均値
上田市、長野市の平年は2018年から2023年までの平均値

⑭アブラムシ類（野菜・花き全般）

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、第1～第4半旬まで平年と比べ多かったが、下旬はほぼ平年並であった。

小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）では、ほぼ平年並であった。

上田市菅平（地区予察ほ）では、平年と同様に誘殺頭数が少なく、ほぼ平年並であった。

富士見町（防除適期決定ほ）では、平年と比べ多かった。

塩尻市洗馬（地区予察ほ）では、第1～第2半旬は平年と比べ少なかったが、第4半旬以降は平年と比べ多かった。

長野市上ケ屋（地区予察ほ）では、平年と同様に誘殺頭数が少なく、ほぼ平年並であった（第7表）。

第7表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	24.5	15.7	16.9	8.0	5.6	3.7
		本年	44	55	36	17	7	13
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	25.1	13.6	9.1	5.7	3.4	4.7
		本年	7	17	6	4	4	5
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.5	1.2	1.0	1.0	0.3	0.5
		本年	0	4	1	0	0	0
富士見町富士見 (地区発生予察ほ)	きく	平年	68.3	45.3	17.0	7.0	12.0	2.0
		本年	88	67	56	36	40	51
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	51.7	33.4	19.6	6.4	2.9	3.9
		本年	13	20	21	19	18	13
長野市上ケ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	2.8	3.2	1.7	0.8	0.8	0.7
		本年	1	1	0	0	0	0

塩尻市・小諸市・富士見町の平年は2017年から2023年までの平均値
上田市・長野市の平年は2018年から2023年までの平均値